

2024 VOL.6

2024年9月10日発行

医療法人尚寿会
埼玉県狭山市水野594番地
Tel: 04-2957-1144
<https://taisei-hosp.jp/>
発行者: 寶積 英彦
編集長: 並木 洋之
企画: 広報誌編集室



統合記念バルーンリリースイベント

病院統合 狭山尚寿会病院がスタートしました

盛り上がり尚寿会！統合記念 バルーンリリース

高齢者の健康に関する教室 **げんきup教室** みずの

安心して生きる それは健康を保ち続けること **人間ドック・健康診断のご案内**

いきいき連復活!! 新たなメンバーを迎え、5年ぶりに活動を再開

ご近所探訪・第6弾 **Ke-yaki Kitchen** (ケーヤキキッチン) さん

病院統合

狭山尚寿会病院がスタートしました



本年6月1日より、大生病院とあさひ病院が統合され、名前も新たに「狭山尚寿会病院」として新たなスタートをきりました。統合により病床数706床を有する大き

な内科・精神科の病院となりました。

今までの課題を解決し、これからの時代に対応できる病院に、そしてより地域の皆様にとって利用しやすい病院へと変化します。

大きな特徴としては、それぞれ別々にあった機能を旧大生病院内に集約しました。

● 外来がB棟に一本化され、受診がしやすくなりました。

● 入退院センターがA棟に設置され、入院時の手続きがよりスムーズになりました。

● 医療相談室が統合され、相談の流れがよりスムーズになりました。

私たち尚寿会グループは開設以来45年にわたり埼玉県西部医療圏域において地域の回復期から慢性期医療に尽力して参りました。

そして今後、さらなる充実に全力で取り組んで参ります。



大生病院・あさひ病院統合記念 バルーンリリースを終わって



※環境に配慮した風船を使用しています



大生病院とあさひ病院の統合を記念して、5月29日午後、バルーンリリースが行われました。台風の影響で開催が危ぶまれましたが、当日は青空が広がり、バルーンリリースには絶好のタイミングとなりました。朝早くから会場設営に携わった職員、患者様・利用者様のために麦わら帽子

を各事業所からかき集めた職員、団扇で患者様に風を送っている職員、いきいき連の阿波踊り、他にも思いやりの行動(コト医療の原点)が随所で見られました。

いよいよリリースの瞬間。「盛り上がり、尚寿会！3・2・1・GO！」の掛け声で一斉に放たれた400個の風船、共に上がった大歓声と拍手は今でも耳に残っています。

大歓声と拍手と笑顔、5月の青空に吸い込まれていく色とりどりの風船は、狭山尚寿会病院の未来を天から祝福されているかのような感動的な光景でした。

今回のバルーンリリースや病院統合を機に、職員一同改めて「コト医療」を患者さまや利用者さま、地域の皆さまや職員同士に実践して、より良いサービスを提供してまいります。

新たなメンバーを迎え、5年ぶりに活動再開 “いきいき連”復活!!



コロナ禍で活動を自粛していた『いきいき連』ですが、今年から新たなメンバーを迎え、5年ぶりに活動を再開しました!



地域の皆様や当法人の利用者様に元気と笑顔を届けるため、4月から日々練習に励んでいます。

『いきいき連』再始動後の記念すべき初ステージとして、7月20日にフラワーヒルのお祭りに参加予定でしたが、残念ながら生憎の雨により中止となってしまいました。

演舞を披露できなかった悔しさを胸に、8月4日の七夕祭りに臨みました。七夕祭りは天気にも恵まれ多くの人の前で尚寿の舞を披露し、沢山の声援や大きな

いきいき連 演舞予定

- 9月28日(土)
メディカルデイ「つむぎ」
狭山市広瀬 2-3-23
- 10月12日(土)
若葉台自治会祭り



拍手をいただき、楽しく踊ることができました。

8月は一旦お休みしていますが、9月、10月にもまだまだ演舞の予定があります。法人内の施設が中心と なっていますが、皆様に阿波踊りの魅力や楽しさをお届けできるような活動していきます。

左記に9月、10月の地域向けの予定を記載していますので、ぜひ! これからもいきいき連の応援よろしくお願います!! 一緒に盛り上げてまいります!

人間ドック・健康診断のご案内 安心して生きる それは健康を保ち続けること



医学の進歩とともに、日本人の平均寿命はどんどん伸び、今や我が国は世界の長寿国です。健康で長生きしたいと望む反面、健康に対する不安は誰でもお持ちではないでしょうか。「安心して生きる」そのためには健康を保ち続けていくことが重要です。病気を早期発見することができれば、早期治療に繋がられます。まずは1年に1回、ご自身の身体の健康チェックをしてください。私たちの提供する健康診断を、その一助としていただければ幸いです。

当院の人間ドックは、検査の数値だけでなく、受診者の方の年齢や既往歴、自覚症状等を踏まえて総合的に判断します。

医学の進歩とともに、日本人の平均寿命はどんどん伸び、今や我が国は世界の長寿国です。健康で長生きしたいと望む反面、健康に対する不安は誰でもお持ちではないでしょうか。「安心して生きる」そのためには健康を保ち続けていくことが重要です。病気を早期発見することができれば、早期治療に繋がられます。まずは1年に1回、ご自身の身体の健康チェックをしてください。私たちの提供する健康診断を、その一助としていただければ幸いです。

人間ドック

- 基本ドック
- 脳ドック
- 肺ドック
- 心臓ドック
- 全身がん検索DWIBSドック

特定健診・各種がん検診

- 狭山市特定健診
- 社会保険被扶養者特定健診
- 各種がん検診（婦人科検診除く）
- 充実コース（特定健診とがん検診を

法定健診

- 企業健診（会社雇用時、定期健診など）

組み合わせたコース

狭山市特定健診に加え、がん検診と組み合わせた当院オリジナルコースもあり、地域の方がご利用しやすい健康診断を実施しております。どうぞお気軽にお問い合わせください。皆様のご利用をお待ちしております。

作品展示



リハビリに通われている利用者様の作品をB棟受付に展示しています。

ぜひご覧ください！



高齢者の健康に関する教室 げんき up 教室 みずの スタートしました！



尚栄会と尚寿会在宅部門では、令和5年10月より、地域の方々が、いきいきとした生活を送っていただくために、高齢者の健康に関する『げんきup教室 みずの』を開いています。

第1回目は、5月23日

「転倒予防」をテーマに、福寿の里「ひこばえホール」で行いました。参加者は男性4名、女性17名の計21名。尚寿会・尚栄会グループのリハビリ職員が、転倒予防の正しい知識や運動について講義しました。

まず、体力測定を実施し、自分の転倒リスクを把握してもらいました。日頃から健康を意識している方が多く参加されていたようで、みなさん、成績優秀でした。

講義の前半は、転倒の要因について解説しました。転倒を防ぐ環境面での工夫は、「廊下に人感センサー付きの照明をつける」「居間のよく通る場所には物を置かない」などです。慣れた環境を見直すことを、ぜひ実行して頂きたいです。そして、最も大事な事は、適切な運動を行うことです。

しかし、自己流でやっている運動では、効果を実感しづらいものです。そのため、教室の後半では転倒予防に効果的な運動を、『やり方やスピード』『どこを意識して動かすか』などのポイントを詳しく解説し、一緒に体を動かしてもらいました。

参加者のアンケート回答には、「正しい運動の仕方がわかった」「どの筋肉に効果があるのか具体的に説明があつてよかった」などの意見をいただきました。

今後、開催予定のテーマは、「熱中症対策」「栄養改善と口腔機能の向上」「閉じこもり予防」「認知症とメンタルヘルス」などです。

『げんきup教室 みずの』では、「介護予防や健康増進」を地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えております。

尚寿会グループ フリーマーケット開催のお知らせ

コロナ禍で開催中止となっていた尚寿会伝統のフリーマーケットですが、昨年より復活を遂げ今年も開催致します。昨年は57店舗出店しましたが、今年は100店舗の出店を目指しており、現在90店舗を超える出店希望を頂いております。飲食、衣類、手作り品等様々なラインナップで思わぬ掘り出し物も出品されるかも？キッチンカーも5台出店予定で魅力的な店舗ばかり、今年はアルコールもご提供致します。

FMチャッピーでパーソナリティーもされていて、当法人も番組に度々ご出演させていただいている演歌歌手の入山アキ子様が出店、狭山ケーブルテレビの「MASARUのごきげんチャージ」でお馴染みの中島まさる様がYouTubeの取材でお見えになります。入場料は無料です、是非皆様のご来場をお待ちしております。

【日時】2024年10月19日(土)

10:00～14:00(雨天中止・順延無し)

【会場】狭山尚寿会病院法人駐車場

【お問い合わせ先】狭山尚寿会病院 担当：小村・豊泉

TEL：04-2957-1141 furima@syojukai.or.jp



尚寿会美容医療です！

多くの方々の笑顔が見たいという思いで、2024年4月狭山尚寿会病院内にオープンいたしました。

尚寿会美容医療はシミ等のお肌の悩み・医療脱毛など施術を行っております。お肌をキレイにしたいけど、どの施術が良いのかわからない方や美容医療が初めての方にも安心して施術を受けて頂けるよう、施術前に丁寧な診察を行っています。

日々のスキンケアだけでは物足りないと感じている方などプラスアルファのお手入れとして、美容医療を取り入れてみるのはいかがでしょうか？皆様のご来店をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



狭山尚寿会病院 A棟1階 お問い合わせ：04-2957-1150
<https://taisei-hosp-beauty.jp/>



尚寿会・尚栄会近所探訪シリーズ 第6弾



懐かしい場所に訪れたような 気持ちになる空間 Ke-yaki Kitchen(ケーヤキキッチン)さん

今回のご紹介は狭山市南入曾の「ケーヤキキッチン」さん。アメリカ人陶芸家のご主人ケーンさんとその奥様美穂さんが住居兼陶房で営んでいるお店です。元々は約20年前に同地にて「ケー焼陶房」を築窯(ケーンさんが蒔窯を手作り!)、ホームギャラリーや陶芸教室をやっていた、2017年からは入間市鍵山にカフェをオープン。コロナ蔓延などの事情もあり、2023年「小さな小さなベーカーリー」として再出発されたそうです。

ケーンさんが作るパンは、体にやさしい素材にこだわった、シンプルで噛み応えのあるハード系。天然酵母を使用したものもあり、その酵母もケーンさんの手作り! その腕前はカフェ時代に6年間料理担当だったことと、陶芸の「こねる」ことに由来。開店日には季節により3〜5種類のパン・焼き菓子が並びますが、レパートリーは全部で約25種類もあるそうです。その中の一つ「サワードウ」という直径30cmほどもある丸い天然酵母のパンは、本誌編集長がサンドイッチにして食しました。パンがふわふわ・もちもちで、ほのかな酸味がチーズやマヨネーズと相性抜群、とても美味しかった、とのこと。同僚の言語聴覚士は、「咀嚼すると甘味が出る! ライス率が高いとパサパサして酸味が強いから薄くスライスすることが多いけれど、厚めに切ってもそんなことなく、食塊形成がしやすい美味しいパン」と専門職ならではの感想も。

販売などを主に担当されているのは奥様の美穂さん。パンと陶芸作品の他、お店に洋書を並べたり、また英会話教室(子ども向け)をされたり。外部講師による「ドイツミュージックセラピー※」という取り組みも店内で定期的に開催。楽器を用いながら「自分を知る」というセラピーだそうです。体験すると自分の意外な一面にハッとさせられるかも!(※詳細はホームページを御覧ください)

ご主人と共に困難もありながらこれまで多くの活動を積極的ににされてきた様子、「まわりの人に支えられてきた」と謙虚に、また朗らかに語ってくださいました。ご主人がアメリカの大学時代から取り組んでこられた陶芸が、さまざまな理由で今は続けることが難しい状況にあることも。

「ケーヤキ」の店名の由来は、名字の「ケーン」と、何かと縁のあった木の「ケヤキ」を掛けたそうです。お店の庭にももちろんケヤキがありました。自然豊かな南入曾の地に、なんだか懐かしい場所へ訪れた気持ちになる空間で、自然と調和し静かに且つパワフルに前を向いて暮らしているケーンさんご夫婦のこのお店、ぜひ皆さんも訪れてみてください。きっと元気をもらえますよ!

ケーヤキキッチン / ケー焼陶芸

住所 埼玉県狭山市南入曾 92-5

電話 04-2958-0699

営業時間 水曜・木曜: 11時~15時
金曜: 配送手配・配達のみ
土曜・日曜: 10時~17時

定休日 月曜・火曜

<https://ke-yaki-kitchen-ke-yaki-pottery.jimdosite.com/>



2024年6月「大生病院」と「あさひ病院」とが統合し、新たに「狭山尚寿会病院」が誕生しました。医療法人尚寿会としても大きな変革となる中、広報誌「しんあい」も今年度より新しい職員を迎え、新体制で新たな一歩を踏み出すべく、広報誌「しんあい Vol.6」を発行いたしました。今回取材の中で、地域の方から「コト医療」という言葉が聞けたこと、大変感慨深い経験でした。医療を通じて患者様・利用者様の人生を豊かにする「コト医療」の価値観が、少しずつ地域に広がり始めていることを実感した一日となりました。

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されたり、東北地方に台風が上陸したり、ゲリラ豪雨が発生するなど厳しい夏となりました。暦の上では秋となりましたが、まだ厳しい暑さが続いています。くれぐれもご愛いただき、健やかな秋をお過ごしください。(編集長 なみ)